

記事内容

- ☆第93回埼玉県中央メーデー
- ☆第93回埼玉県中央メーデー「リレーメッセージ」/
「ウクライナ人道危機救援金」募金
- ☆2022春季生活闘争「第5回回答集計」
- ☆2022年度組織拡大推進者連絡会「第19回私の提言」募集
- ☆6月の行動日程/埼玉県生活協同組合
- ☆あけぼのビル

一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会をめざし みんなが輝く未来をつくろう!

第93回埼玉県中央メーデー

4月29日(金)、ときわ会館において、「一人ひとりが尊重される 多様性を認め合う社会をめざし みんなが輝く未来をつくろう!」をスローガンに掲げ、第93回埼玉県中央メーデーを開催しました。会場には来賓、執行部など46名が集まり、YoutubeLiveをつうじてオンライン配信しました。当日は、瞬間最大598アカウントを記録し、5月19日時点で3,954回の再生回数となりました。

オープニングイベントでは、「三遊亭 鬼丸がSAITAMAの魅力を発信!」と題し、募集いただいた「私の好きな埼玉」メッセージを紹介しながら、笑いを交えて埼玉県の魅力が語られました。

式典では、冒頭の近藤会長の主催者挨拶で、新型コロナウイルス感染防止に向けた協力をお願い、11年目を迎えた東日本大震災の支援と激甚化する自然災害への備え、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対する支援の取り組みが語られました。また、こうした社会情勢を踏まえ、働く仲間のくらしと権利を守るためには、真剣に汗を流す政治家を一人でも多く国政の場に送り込むことが重要であることから、引き続きの理解と協力を訴えました。

来賓として、大野元裕埼玉県知事、福祉事業団を

代表して谷内聡埼玉労福協副理事長、清水勇人さいたま市長にご挨拶いただき、第26回参議院議員選挙推薦候補予定者である上田清司氏(無所属)と高木真理氏(立憲民主党)からも決意表明として挨拶をいただきました。

続いて「新型コロナウイルス感染症の中でも懸命に働く仲間へのエールメッセージ」、「東日本大震災を風化させない支援のメッセージ」が読み上げられました。また、構成組織・加盟組合の皆様へ応募をいただいた「働く人へのありがとう」メッセージと「私の好きな埼玉」メッセージにおける最優秀作品の発表・紹介をしました。多くの方のご応募に対し御礼申し上げます。

また、本メーデーに合わせて実施した「ウクライナ人道危機救援金」としての募金活動の中間報告がされました。最終の報告を本誌4ページに掲載しておりますので、合わせてご確認ください。

その後、メーデースローガンの読み上げ、メーデー宣言の採択をおこない、最後に今井副会長によるオンラインで繋いだ「団結ガンバロー」三唱で式典を締めくくりました。

引き続き連合埼玉Youtubeチャンネルで視聴できますので是非ご視聴ください。



近藤 嘉
連合埼玉会長



大野元裕
埼玉県知事



谷内聡
埼玉労福協副理事長



清水勇人
さいたま市長



今井信博
連合埼玉副会長

第93回埼玉県中央メーデー

リレーメッセージ

第93回埼玉県中央メーデーにおいて、リレーメッセージとして働く仲間の皆さんに向けた「応援メッセージ」と働く人への感謝の気持ちを込めた「はたらく人にありがとう」メッセージと「私の好きな埼玉」メッセージが披露されました。

「はたらく人にありがとう」メッセージには小学生低学年の部8点、小学生高学年の部6点、中学生の部3点の応募いただきました。各部門の最優秀作品は、本人によるビデオメッセージとして披露されました。

また、私たちの生活の基盤である埼玉県の魅力を発信し、県民の関心を高め、県内需要に貢献することを目的に「私の好きな埼玉メッセージ」を募集し、「風景&観光地の部」で13点、「グルメ&特産物の部」13点の合計26作品が集まりました。

はたらく人にありがとうメッセージ

【小学生低学年の部 最優秀作品】

高橋 汰郎丸くん(JP労組)



朝、ぼくが起きるとパパはいません。学校から帰ってきててもパパはいません。寝る時もパパはいません。ぼくよりも朝早くて、ぼくよりも寝るのが遅いパパだけど、休みの時はぼくが大好きなから揚げを作ってくれたり、ぼくがほしいソフビを探しまわってくれたり、いつもはママがしている食器を洗ったり、ぼくとお風呂で遊んでくれたり、たくさんぼくたちのことを考えてくれます。

疲れているのに毎日がんばってくれるパパありがとう。

ぼくはパパの顔を見ると「おつかれさま」と言いたくなります。

パパ、大好きです。

【小学生高学年の部 最優秀作品】

根岸 未来さん(埼玉県私鉄)



わたしのばあちゃんは、駄菓子屋さんです。わたしの友達は全員知っていると思います。そんな駄菓子屋さんのことを2つお伝えします。

1つ目は、毎日やっていることです。なぜ毎日やっているかというと、お客さんの喜ぶ顔がみたいからだそうです。2つ目は、袋の手作りのことです。なぜ袋を手作りしているかというと、ビニール袋だとエコロジーにならないので、いつも百枚以上作っているそうです。

わたしの好きな駄菓子が、毎日食べられるのは、ばあちゃんが休みなく働いてくれているおかげです。ばあちゃんに感謝したいと思います。

【中学生の部 最優秀作品】 足立 奈優さん(電機連合)



学校でおいしい給食を作ってくれる調理員さん、いつもありがとうございます。

私は学校の給食がとてもおいしいので、大好きです。

毎日学校で勉強をするのはつかれてしまうけど、あたたかい給食を食べると元気がわいてきます。だから、その後の授業も頑張っています。

担任の先生が前にいた学校では、給食センターから届いたものを食べていて、スープが冷たかったそうです。私はあたたかいご飯とスープを食べるのが

当たり前だと思っていました。そう思える事も幸せで、働いてくれている人のおかげだと改めて感じました。

もうすぐ高校に行き、もう食べられないと思うと、もっと感謝して食べようと思いました。

日頃、直接感謝の気持ちを伝える事はできないけれど、「いつも私たちが元気に生活をできる、栄養の整った給食をありがとう」という気持ちで、いただきますと言おうと思いました。

私の好きな埼玉メッセージ

【グルメ&特産物の部 最優秀作品】 米内 宏美さん(UAゼンセン)

私は「行田フライ」が好きです。あの素朴な食べ物を初めて食べた時は驚いたけれどあの日は感謝しか思い出せません。あれは…30年以上前の事。19歳の私が美容師のインターン時代の出来事です。月8万円のお給料で3万円の寮費…カツカツなインターン時代。店の休みの日、講習会で都内へ。帰り最寄りの駅からバスに飛び乗ると暗闇ながらも知らない風景…寮とは違う道に気づき飛び降りると見たことない場所。

泣きたくなくらい心細くてトボトボ歩き出す…

真っ暗な先に光が!近づくと「行田フライ」の文字。朝から何も食べない…お腹はグーグー、涙はボトボト(笑)お財布を見ると残りわずかな小銭が。それでも買える「行田フライ」当時いくらだったろうか?食べながら涙は止まらない!見かねた店のおばさんが声をかけてくれて…なんと寮まで送ってくれました。思い出すと感謝しかありません。そんなエピソードの「行田フライ」忘れられません。



【風景&観光地の部 最優秀作品】 内田 英亮さん(電力総連)

本庄市 こだま千本桜
「桜、桜、見渡す限り…」とは坂本冬美の名曲、夜桜お七のサビの歌詞ですが、本庄市でも屈指の桜を堪能できるスポットが、こだま千本桜です。

小山川の両側に、本当に千本(約1,100本)桜が咲き誇ります。春には5kmに渡って美しく咲き誇るその風景は大変に美しく、市内外から花見に来た方で賑わいます。近年はコスプレヤーの撮影場所としても人気が高まっています。また、桜の時期には夜にライトアップされ、幻想的な夜桜が楽しめます。

高柳さくらの会によるイベントも令和4年より始まり、なりぎり坂本冬美コンテスト「夜桜お七」選手権も雨の降る中大変盛り上がり、新たな目玉になりそうです。ちなみに、私も坂本冬美になりぎり、銀賞を勝ち取ることが出来ました!

こだま千本桜は春だけではなく、冬もイルミネーションによる彩りで楽しむことが出来ます。

是非とも、燃えて燃やした肌より白い桜を浴びに、本庄市のこだま千本桜にお越し下さい。



働く仲間への応援メッセージ

飯島 茂さん(運輸労連 ヤマト運輸労働組合 東松山支部書記長)

「いつもありがとうございます。うちは宅急便屋さんがないと生活ができないわ。」あるお客様のお言葉です。昨今、出来るだけ外出を控え、生活必需品もネット通販で購入する、そんな方々が増えています。マスク着用はもはや常識となり 手洗い・消毒などは日々のルーティンとなっています。そんな中でも日々、大変な思いをしながらも働く皆さんに「ありがとう」と感謝の言葉を送りたいと思います。

先程お話ししましたが私はヤマト運輸に勤めております。思い返せば2年と少し前、新型コロナが市中感染し始めた頃は私達も世間から冷ややかな目で見られていた事を思い出します。陰口もたくさん聞こえてきました。世の中に対し、不信感さえ抱いた時期でした。

そんな風評もほどなくなりしました。エッセンシャルワーカーという言葉が発せられ、「生活を営む上で必要不可欠な仕事」として認めてもらうようになりました。

業務はこれまでより非対面での荷物の受け渡しや置き配を希望されるお客様も増え、私達も感染予防を最優先し、出勤前、点呼時の体温計測から店舗の亚克力板設置・ソーシャルディスタンスの確保、車両内の消毒など様々な対応をしつつ、世の中の日常生活のお役に立ちたいという思いで働いております。

そんな中、半年ほど前、知人から連絡がありました。感染症拡大により仕事なくなり転職を余儀なくされたそうです。外出控えや時短要請など様々な制限により業務量、売上収入が減り大変な思いをされている飲食店や旅客・旅行業の方々。私達も旅行や複数人で集まったの飲食もしばらく出来ていません。早く日常に潤いのある生活が再開出来るよう願っています。また依然としてひっ迫したきびしい状況で戦っている医療従事者の方々のご苦労など、私達もそんな厳しく大変な思いをされている方々のおかげで 仕事や生活が送れていることに改めて感謝しています。

私達が所属する運輸労連でも高騰する燃料費や慢性的な人手不足に悩まされている単組も数多くいると聞きます。国や行政にはぜひ、働く人・働きたい人に対して手厚い施策をお願いしたいと思います。

最後に働く仲間の祭典であるメーデーに於いて、お集まりの皆さん、また今も職場でお仕事をされている皆さん、お互いに支え合って何事も諦めることなく、共に歩みを進めて行くことをここに確認したいと思います。(一部略)



第93回埼玉県中央メーデー フォトギャラリー

オープニングイベント「三遊亭鬼丸がSAITAMAの魅力を発信！」



三遊亭鬼丸師匠



総合司会
平尾幹雄事務局長

医療物資の贈呈式



医療生協さいたま 雪田慎二理事長
昨年に引き続き、医療用N95マスク
75,000枚分を寄贈しました。

リレーメッセージ



福島県復興支援員埼玉事務所
富永まゆみさん



メーデスローガン：藤井久恵さん
(女性委員会)

参議院議員選挙推薦候補予定者



上田清司氏



高木真理氏



メーデー宣言：丹羽宝宏さん
(青年委員会)



団結ガンバロー



Youtube配信中!

連合埼玉は生命や生活に差し迫った脅威が迫っているウクライナの方々への人道的支援として募金活動をおこないました。

集まった募金は、埼玉県ならびに各市町村でも展開している日本赤十字社「ウクライナ人道危機救援金」をつうじて、ウクライナでの人道危機対応およびウクライナからの避難民を受け入れる周辺国等における救援活動に充てられます。

「ウクライナ人道危機救援金」募金

構成組織(連合埼玉含)	13	組織
地域協議会	5	組織
募金金額	1,301,022	円

連合:2022春季生活闘争 第5回答集計結果(抜粋)(5月6日現在)

連合は2022春季生活闘争の第5回答集計を5月9日(月)に公表しました。

【概要】

- 月例賃金改善(定昇維持含む)を要求した 4,655 組合中3,330組合が妥結済み(71.5%)。うち賃金改善分を獲得した組合は1,532組合(46.0%)で、割合は2014闘争以降最も高い。
- 平均賃金方式で回答を引き出した、3,336 組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で6,160円・2.10%(昨年同時期比813円増・0.29ポイント増)、うち300人未満の中小組合2,292組合は4,997円・2.02%(同559円増・0.25ポイント増)となった。前回集計(4月14日公表)以降新たに回答を引き出した599組合のうち502組合(83.8%)が中小組合であるが、4月末時点で中小組合の率が2%を超えたのは2018闘争(2.02%)以来であり、依然「賃上げの流れ」はしっかりと引き継がれている。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給24.54円(同2.66円増)・月給5,076円(同634円増)である。引上げ率は概算でそれぞれ2.39%・2.33%となり、一般組合員(平均賃金方式)を上回っている。

1. 賃金引上げ <第5回答集計結果(5月9日公表)>

平均賃金方式(集計組合員数による加重平均)

平均賃金方式		2022回答（2022年5月9日公表）			昨年対比	2021回答（2021年5月10日公表）		
		集計組合数	定昇相当込み賃上げ計			集計組合数	定昇相当込み賃上げ計	
		集計組合員数	額	率		集計組合員数	額	率
		3,336 組合 2,341,714 人	6,160 円	2.10 %	813円 0.29 ポイント	3,205 組合 2,191,464 人	5,347 円	1.81 %
300人未満 計		2,292 組合 229,515 人	4,997 円	2.02 %	559円 0.25 ポイント	2,222 組合 223,633 人	4,438 円	1.77 %
～99人		1,323 組合 55,977 人	4,498 円	1.96 %	513円 0.27 ポイント	1,277 組合 55,405 人	3,985 円	1.69 %
100～299人		969 組合 173,538 人	5,162 円	2.04 %	574円 0.25 ポイント	945 組合 168,228 人	4,588 円	1.79 %
300人以上 計		1,044 組合 2,112,199 人	6,295 円	2.11 %	840円 0.29 ポイント	983 組合 1,967,831 人	5,455 円	1.82 %
300～999人		648 組合 349,627 人	5,559 円	2.04 %	518円 0.18 ポイント	619 組合 334,657 人	5,041 円	1.86 %
1,000人～		396 組合 1,762,572 人	6,448 円	2.12 %	905円 0.31 ポイント	364 組合 1,633,174 人	5,543 円	1.81 %

※2022年と2021年で集計対象組合が異なるため、「定昇相当込み賃上げ計」の昨年対比は整合しない。

2. 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ <第5回答集計結果(5月9日公表)>

時給	2022回答 (2022年5月9日公表)			昨年対比	2021回答 (2021年5月10日公表)		
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)
単純平均	246 組合	22.86 円	1,060.29 円	3.54 円	207 組合	19.32 円	1,038.46 円
加重平均	667,457 人	24.54 円	1,052.03 円	2.66 円	549,009 人	21.88 円	1,047.86 円
月給	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率 (参考値)	昨年対比	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率 (参考値)
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率 (参考値)		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率 (参考値)
単純平均	60 組合	4,516 円	2.10 %	317 円	64 組合	4,199 円	1.97 %
加重平均	17,140 人	5,076 円	2.33 %	634 円	17,002 人	4,442 円	2.03 %

過半数の労働組合か 労基署が厳しくチェック

2022年度組織拡大推進者連絡会

5月10日(火)第6回(拡大)執行委員会終了後、組織拡大推進者連絡会を開催しました。参加者は執行委員のみならず、構成組織の代表12名と地域協議会の代表11名も加わり、全体で59名が参加しました。

冒頭、組織委員会委員長の高井副会長の開会挨拶のあと、連合組織拡大局の中央オルガナイザー 山田 清秋氏から「過半数代表制の適正な運用と企業内組織拡大の取り組み」をテーマに講義を受けました。

連合では3年前から36協定の締結促進に取り組んできましたが、過半数を組織していない労働組合が締結した労使協定は無効となることから、最近、過半数で組織した労働組合かどうかを労基署が厳しくチェック

するようになっていきます。したがって、講義では、労働組合が過半数で組織しているかチェックするとともに、もし過半数に満たない場合は企業内組織拡大、具体的には従業員の組合員化に取り組むよう講義がありました。

参加者から、過半数の判断として100人の従業員で51人が組合員なら過半数か？また、感情論で組合加盟しないという方にはどのような話をすればよいか？といった質問がありました。

続いて相坂アドバイザーから、2021年4月から本年3月までの「なんでも労働相談」について、相談件数は597件(前年度653件)と56件減少したとの報告がありました。



高井副会長

連合本部中央オルガナイザー
山田清秋氏

相坂アドバイザー



会場の様子

第19回「私の提言」

「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと



連合は結成30周年を迎えた2019年に、中長期的な方針として連合ビジョン「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」を策定しました。

連合はコロナ禍の中で、変化に対応した新しい労働運動のスタイルの構築をめざしています。

連合がすべての働く仲間とともに「必ずそばにいる存在」となるべく、組合員の皆様、学生の皆様、様々な方々の幅広い視野でのご意見を募集します。

提言については、組合員・組合役員・OBのみならず学生や一般の方からも幅広く募集いたします。皆様からのご応募ならびに周知をお願いいたします。

連合・教育文化協会共催 第19回

「私の提言」募集



募集テーマ

「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けて連合・労働組合が今取り組むべきこと
(オリジナルで未発表のものに限る)

応募締切

2022年7月25日(月) 必着

表彰

優秀賞 表彰盾と副賞 20万円

佳作賞 賞状と副賞 10万円

奨励賞 賞状と副賞 3万円

学生特別賞 賞状と副賞 12万円

奨学金1万円×12ヶ月

☆応募者には、もれなく記念品を進呈(入賞者及び審査対象外となった方を除く)。

☆発表 2022年9月15日(木)予定

応募資格

どなたでも応募できます。

応募方法

Webサイトの応募フォーム

応募・お問い合わせ先

公益社団法人 教育文化協会
E-mail info-ilec@sv.rengo-net.or.jp
電話 03-5295-5421

詳しくは

教育文化協会 私の提言 検索



現在予定される6月の日程表です

6月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	水	埼玉労働局への要請＜男女平等推進＞(11:00～・埼玉労働局)	
2日	木	臨時四役会議(～3日・キングアンバサダーホテル)	
3日	金		①連合「第16回男女平等講座」(9:45～・WEB開催) ②連合「2022年度最低賃金全国学習会」(13:00～14:00・WEB開催) ③東部地域協議会「第2回幹事会」(18:00～・WEB開催) ④朝霞・東入間地域協議会「第3回幹事会」(18:30～・日本梱包運輸倉庫労働組合)
4日	土	①平和集会(10:00～・WEB開催) ②災害ボランティア救援隊員研修(中級)(13:30～16:30・JAM埼玉)	
5日	日		
6日	月		①中央労働金庫さいたま支店「第4回幹事会」(16:00～・中央労働金庫) ②中央労働金庫さいたま支店「第4回店全体会議」(16:00～・中央労働金庫)
7日	火	①第7回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・産別交流) ②全国一斉集中労働相談ホットライン(10:00～18:00)	
8日	水	全国一斉集中労働相談ホットライン(10:00～18:00)	
9日	木	政策フォーラム(10:00～・埼玉会館)	
10日	金		埼玉県「令和4年第1回埼玉の障害者雇用を進める関係機関連携会議」(10:00～・埼玉教育会館)
11日	土		
12日	日	ワークルール検定(ときわ会館)	
13日	月	ジェンダー平等・多様性推進委員会「トップセミナー」(13:30～・ときわ会館)	
14日	火		
15日	水	①埼玉シニア連合「第4回幹事会」(第19回全加盟組織代表者会議)(13:00～・さいたま共済会館) ②女性委員会「女性のためのSTEP UPセミナー(初級編)」(13:30～・ときわ会館)	既卒3年以内の方及び34歳以下の若者対象就職面接会(13:15～・大宮ソニックシティ)
16日	木		
17日	金	第3回ジェンダー平等・多様性推進委員会(10:00～・連合埼玉会議室)	①県央地域協議会「第5回幹事会」(18:00～・UDトラックス労働組合) ②熊谷・深谷・寄居地域協議会「第3回幹事会」(18:15～・秩父鉄道労働組合)
18日	土		
19日	日		
20日	月		
21日	火		
22日	水		①第26回参議院議員選挙公示日 ②中央労働金庫「定期総会」(12:00～・中野サンブラザ)
23日	木	平和行動 in 沖縄(～25日・那覇市)	
24日	金		
25日	土		
26日	日		
27日	月		
28日	火		
29日	水		
30日	木		

埼玉大学正門前 コーポ上大久保



所在地:さいたま市桜区上大久保1000

交通:JR京浜東北線「北浦和駅西口」よりバス「埼玉大学前」下車徒歩1分

// :JR埼京線「南与野駅」よりバス「埼玉大学前」下車徒歩1分

概要:鉄筋コンクリート造り7階建て

間取り:和室6畳、和室4.5畳、洋室4.5畳、ダイニングキッチン、バス・トイレ、駐車場有り



※空き室有り



労働組合及び組合の皆様にご利用いただける賃貸住宅をご紹介します。
空き室状況や入居条件等、お気軽にお問い合わせください。

＜埼玉県宅地建物取引業協会会員＞

埼玉県勤労者生活協同組合・住宅課

☎048-251-3089(月～金祝日除く9:00～17:30)



Akebono Building

あけぼのビル

事務局長 平尾 幹雄

＜はじめに＞

いよいよ、今月の下旬には、第26回参議院議員選挙の公示日を迎えます。それぞれの構成組織で擁立している9名の連合推薦候補者と、連合埼玉で推薦している埼玉選挙区の2名の推薦候補者を国政に送り、私たちの政策・制度要請を実現する必要があります。

そのために、私たちができることは、投票に行くことです。選挙期間におこなわれる期日前投票と投票日における投票のいずれかで、しっかりと投票に行き、投票に行くことに尽きると思います。

さて、参議院議員選挙の公示日を目前にしながら、改めて、投票制度、投票に行くことの意味について、考えてみたい。

＜投票制度の歴史＞

投票制度の歴史を紐解くと、古代ギリシャ時代の直接民主制の中で生まれています。当時の投票方法については、陶片に記入して投票したり、色のついたボールのような物で投票したりと、さまざまな方法で投票していたようです。しかしながら、投票権自体は、すべての住民が投票に参加できたわけではなく、投票者は、大人の男性市民であるなど、限定されていました。

限定的な投票制度ではありますが、古代ギリシャ時代から「民主主義」の根幹を成す1つの仕組みになっています。その民主主義は、英語で「デモクラシー」と言いますが、その語源は、古代ギリシャの「国家」「国民・住民」を表す「デーモス」と「権力」を表す「クラトス」の合成語で、「民衆の力」という意味となっています。その当時から投票することで、多くの投票を得ることが、民衆の力になっていたと考えられています。

＜投票行動の意味＞

連合においても、「あなたの1票が未来を決める!」をスローガンに、「投票に行こう!」の活動という呼びかけをおこなっています。

私たちが「投票に行こう!」を呼びかける意味は、昨年開催された第49回衆議院議員選挙のアンケート結果を見ても、投票への働きかけをした組合員の投票率は、一般の有権者と比較しても、非常に高い結果となっています。(連合埼玉の投票率:81.5%、埼玉県投票率:51.4%)

このような数値を見ると、働きかけの効果は明らかではありますが、働きかけをつうじて「投票する意味」について考えてみると、大きく2つあると言われています。

1つは、「政治に関心をもつキッカケになる」と言われています。政治は生活そのものであり、生活する上でのリスク(病気、自然災害、犯罪、金融、職場安全など)への備えや、万一の対処であったり、さまざまなリスクの備えにより、安

心して生活できるための制度(法律等)を作っているわけです。

もう1つは、「政治家をチェックする機会」でもあり、一方で政治家本人からすれば「政治家自身への健康診断(点検活動)になる」とも言われています。

私たちが「投票に行こう!」の働きかけをつうじて、私たちの生活や職場の安心、安全を届けてくれる政治家を選ぶことが、私たち自身が投票する意味ではないかと思います。

＜自治体への働きかけ＞

連合埼玉では、投票率向上に向けて、各自治体への政策・制度要請として、投票率向上を要請しています。行政に対しての働きかけについては、大きく2つの点を要請しています。1つは、有権者が政治や選挙に関心を持ってもらう啓蒙活動への要請です。例えば、SNS上では「#わたしも投票します」という著名人などの発信で政治への関心を高めたり、投票済票を活用したサービスであったり、各種ポスターやチラシでの啓蒙活動になります。

もう1つは、投票の機会を増やす要請です。日頃の生活の中で、気軽に投票できるように、期日前投票所を増やしたり、駅やショッピングモールへ投票所を設置したり、投票できる機会を増やすことで投票率向上につながります。



理化学研究所と二ホニウム記念碑

＜未来を切り開く＞

和光市には、国立研究開発法人「理化学研究所」があります。日本で唯一の自然科学の総合研究所として、幅広い分野で研究を進めています。

特に、こちらの研究所では、2004年に世界で初めて元素記号113番目の元素を発見し、アジアで初めて命名権が与えられ、2016年に元素名が「nihonium(二ホニウム)」、元素記号が「Nh」に決定した研究所でもあります。

本来であれば、色々な実験ブースが見学できる施設ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、当面の間、閉鎖しております。再開時期などはHPで最新情報を確認してみてください。

このような基礎研究や応用研究の新たな技術への取り組みも、重要な政策の取り組みになります。

例えば、近い将来「カプセル1錠で寝ながら健康診断」、「ヘッドホンひとつであらゆる国の人とコミュニケーション」、「走れば走るほど空気を綺麗にする自動車」など、新しい技術が私たちの生活を大きく変化する時代も訪れることになると思います。

そのためには、しっかりと未来を切り開く政策を実現できる人を、皆さんの投票行動で国政に送り込んで頂きたい。

2022.5.18